



スマホ利用のライフスタイルアプローチ(2) スマホ利用者の利用時間の違いとその特性

**○小島 誠也（NTTドコモ モバイル社会研究所）
飽戸 弘（東京大学名誉教授）**

- 背景

- スマホは年々普及しており、2022年1月には国内のスマホ比率は94%に。
- スマホとの付き合い方は人それぞれで、活用できている人がいる一方であまり活用できていない人も存在する。
- スマホの付き合い方にはスマホの利用時間が関連要因として挙げられる。

- 目的

- スマホとの付き合い方の1指標として「**利用時間**」に着目し、スマホ利用者の利用時間別の特徴を明らかにする。

分析の流れと調査概要

- 分析内容

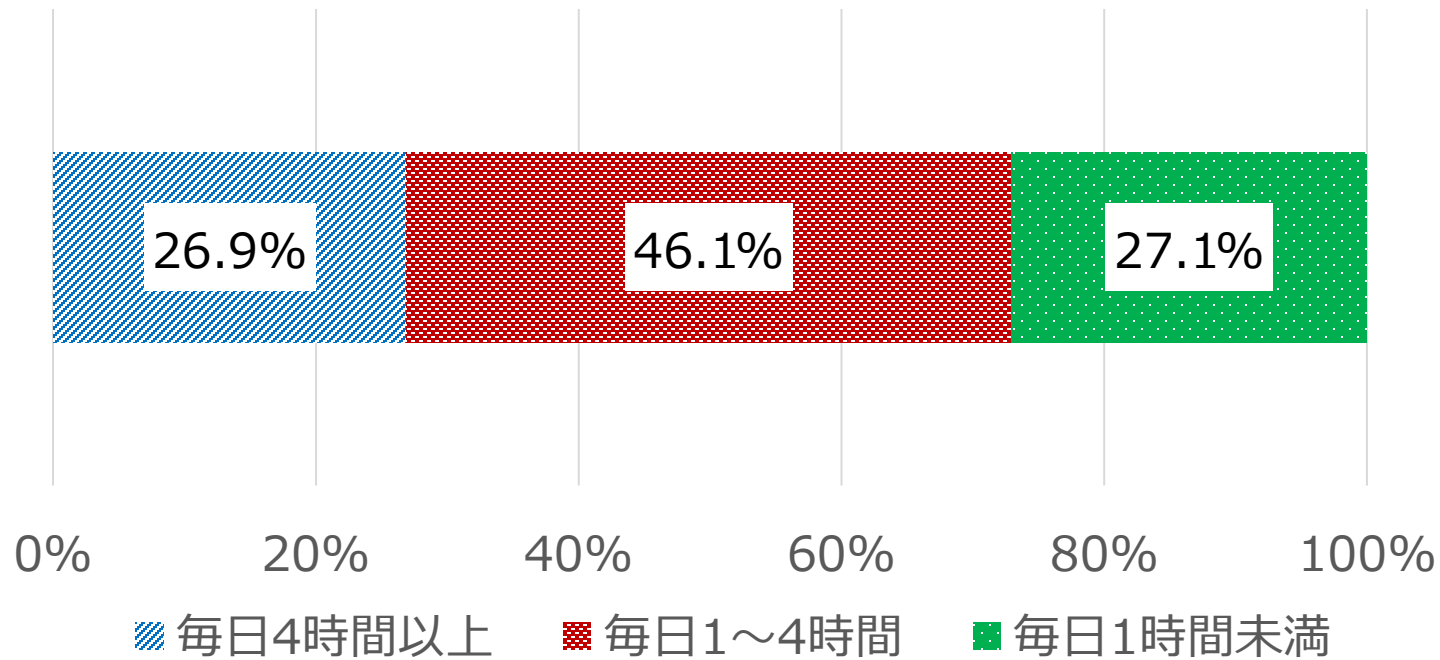
- 基礎集計
- 全サンプルを対象にスマホ利用時間別特性を分析（数量化理論第2類）
- 年代別にスマホ利用時間別特性を分析（数量化理論第2類）

- 調査概要

調査時期	2022年2月
調査方法	Web調査
調査対象	全国・15歳～79歳・男女
標本抽出方法	QUOTA SAMPLING、性別・年齢（5歳刻み）・都道府県のセグメントで日本の人口分布に比例して割付しスマホ所有率を調査。調査結果からスマホ所有者比率に比例して再割付を実施。
サンプル数	6,272

基礎集計 「休日のスマホ利用時間」

- 利用時間が「毎日4時間以上」と「毎日1時間未満」の割合がそれぞれ1/4程度



数量化理論第2類に用いた変数

■ 目的変数

休日スマホの利用時間

3群： 毎日4時間以上、 毎日1～4時間、 毎日1時間以下

■ 説明変数

- ・基本属性： ①年齢、②性別
- ・ICT利活用： ③スマホ所有期間、④パソコンの所有状況、⑤スマホで最も行っている行動
- ・利用サービス： ⑥日常的使うアプリ数、⑦SNS利用数
- ・ネガティブな経験：
 - ⑧メールやメッセージで相手にうまく伝わらなかった経験の程度
 - ⑨ネットショッピングでお金を浪費した経験の程度
- ・利用意識：
 - ⑩スマホ利用により体の不調を感じることもある
 - ⑪スマホ利用により友人との交流が深まったと思う

分析結果 1 全サンプル (n=6,272)

判別的中率 : 58.6%

1軸

平均と標準偏差 (群別)

	平均	分散	標準偏差
4時間以上	-0.783	0.596	0.772
1-4時間	-0.071	0.642	0.801
1時間未満	0.898	0.587	0.766
全体	0.000	1.000	1.000

寄与率 : 85.8%

相関比 η^2 : 0.385**

2軸

平均と標準偏差 (群別)

	平均	分散	標準偏差
4時間以上	-0.269	1.046	1.023
1-4時間	0.272	0.838	0.916
1時間未満	-0.196	0.994	0.997
全体	0.000	1.000	1.000

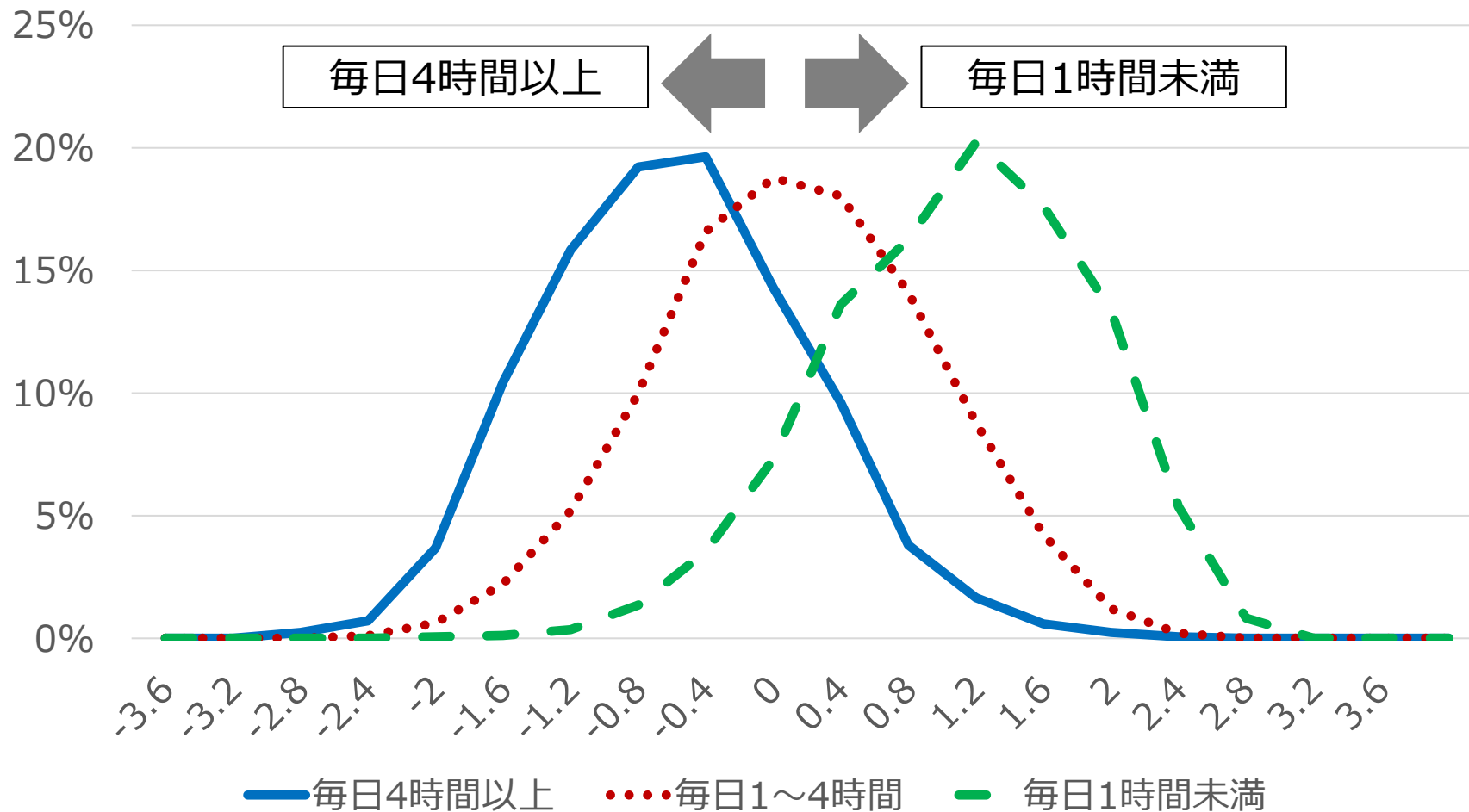
寄与率 : 14.2%

相関比 η^2 : 0.064**

分析結果 1 全サンプル (n=6,272)

7

判別グラフ (1軸)



分析結果 1 全サンプル (n=6,272)

目的変数に対する各説明変数のレンジと偏相関係数（1軸）

アイテム名	レンジ		偏相関係数	
年齢	1.088	1位	0.254	1位
性別	<u>0.147</u>	<u>11位</u>	<u>0.055</u>	<u>11位</u>
スマホ歴	<u>0.398</u>	<u>10位</u>	0.101	8位
PC所有状況	0.551	5位	0.154	4位
スマホで最も行っている行動	0.726	2位	0.174	3位
日常的に使うアプリ数	0.690	3位	0.188	2位
SNSの利用数	0.455	8位	0.107	6位
メール等で相手にうまく伝わらない経験	<u>0.436</u>	<u>9位</u>	<u>0.087</u>	<u>9位</u>
ネットショッピングでの金銭浪費経験	0.482	6位	<u>0.085</u>	<u>10位</u>
体の不調を感じる	0.620	4位	0.149	5位
人との交流が深まった	0.470	7位	0.105	7位

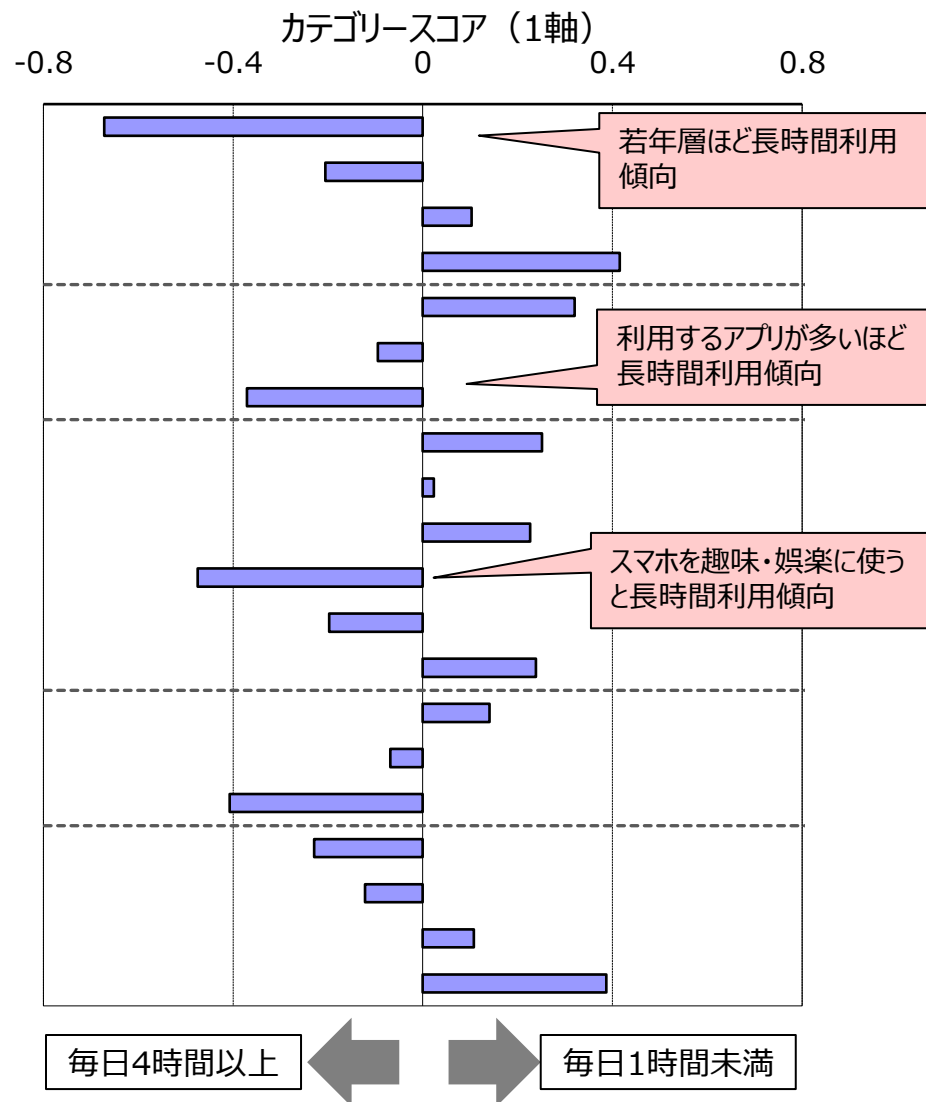
赤：上位3項目

青：下位3項目

分析結果 1 全サンプル (n=6,272)

9

アイテム名	カテゴリー名	n	偏相関係数 (順位)
年代	15-29歳	1113	
	30-44歳	1417	.254
	45-59歳	1648	(1位)
	60-79歳	2094	
日常的に使うアプリの数	0-4個	2283	
	5-9個	2708	.188
	10個以上	1281	(2位)
スマホで最も行う行動	コミュニケーション	1506	
	情報検索	2647	
	仕事、学校、勉強、生活関連	283	.177
	趣味・娯楽	888	(3位)
	暇つぶし・ストレス解消	710	
	その他	238	
PCの所有状況	専用PC所有	3844	
	共用PC所有	1325	.153
	PC未所有	1103	(4位)
スマホ利用により体の不調を感じる	そう思う	1238	
	まあそう思う	2305	.148
	あまりそう思わない	1760	(5位)
	そう思わない	969	



分析結果 2 年齢15～29歳 (n=1,113)

10

判別の中率 : 56.2%

1軸

平均と標準偏差 (群別)

	平均	分散	標準偏差
4時間以上	-0.312	0.643	0.802
1-4時間	0.277	0.911	0.954
1時間未満	1.643	1.520	1.233
全体	0.000	1.000	1.000

寄与率 : 82.6%

相関比 η^2 : 0.216**

2軸

平均と標準偏差 (群別)

	平均	分散	標準偏差
4時間以上	-0.110	0.827	0.910
1-4時間	0.248	0.999	1.000
1時間未満	-0.567	2.146	1.465
全体	0.000	1.000	1.000

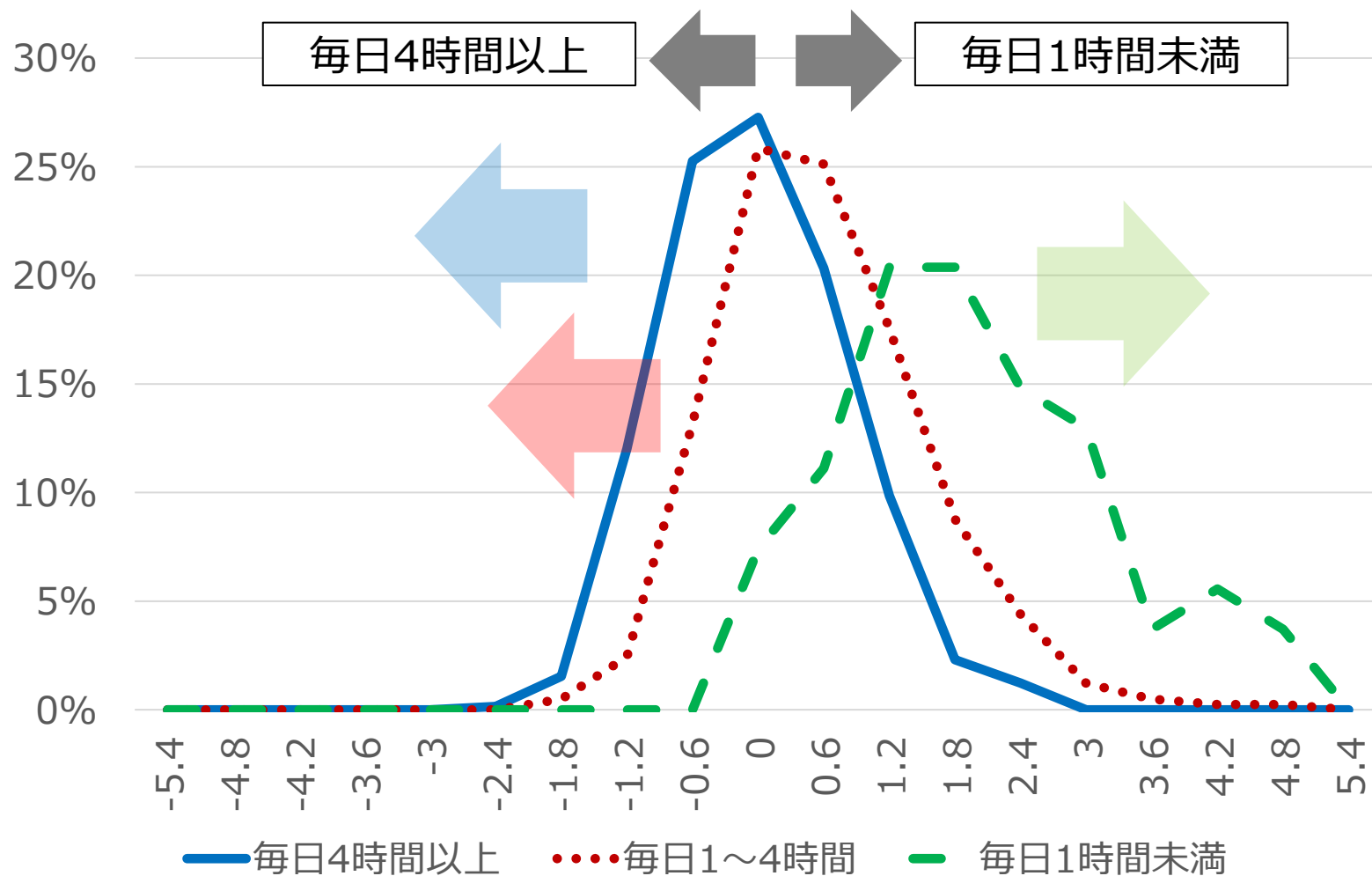
寄与率 : 17.4%

相関比 η^2 : 0.045**

分析結果 2 年齢15～29歳 (n=1,113)

11

判別グラフ (1軸)



分析結果 2 年齢15～29歳 (n=1,113)

12

各説明変数のレンジと偏相関係数 (1軸)

アイテム名	レンジ		偏相関係数	
性別	0.579	7位	0.143	4位
スマホ歴	1.156	3位	<u>0.104</u>	<u>8位</u>
PC所有状況	<u>0.076</u>	<u>10位</u>	<u>0.014</u>	<u>10位</u>
スマホで最も行っている行動	1.455	1位	0.218	1位
日常的に使うアプリ数	1.049	4位	0.179	2位
SNSの利用数	1.256	2位	0.107	7位
メール等で相手にうまく伝わらない経験	1.048	5位	0.151	3位
ネットショッピングでの金銭浪費経験	<u>0.387</u>	<u>9位</u>	<u>0.048</u>	<u>9位</u>
体の不調を感じる	<u>0.558</u>	<u>8位</u>	0.108	6位
人との交流が深まった	0.807	6位	0.117	5位

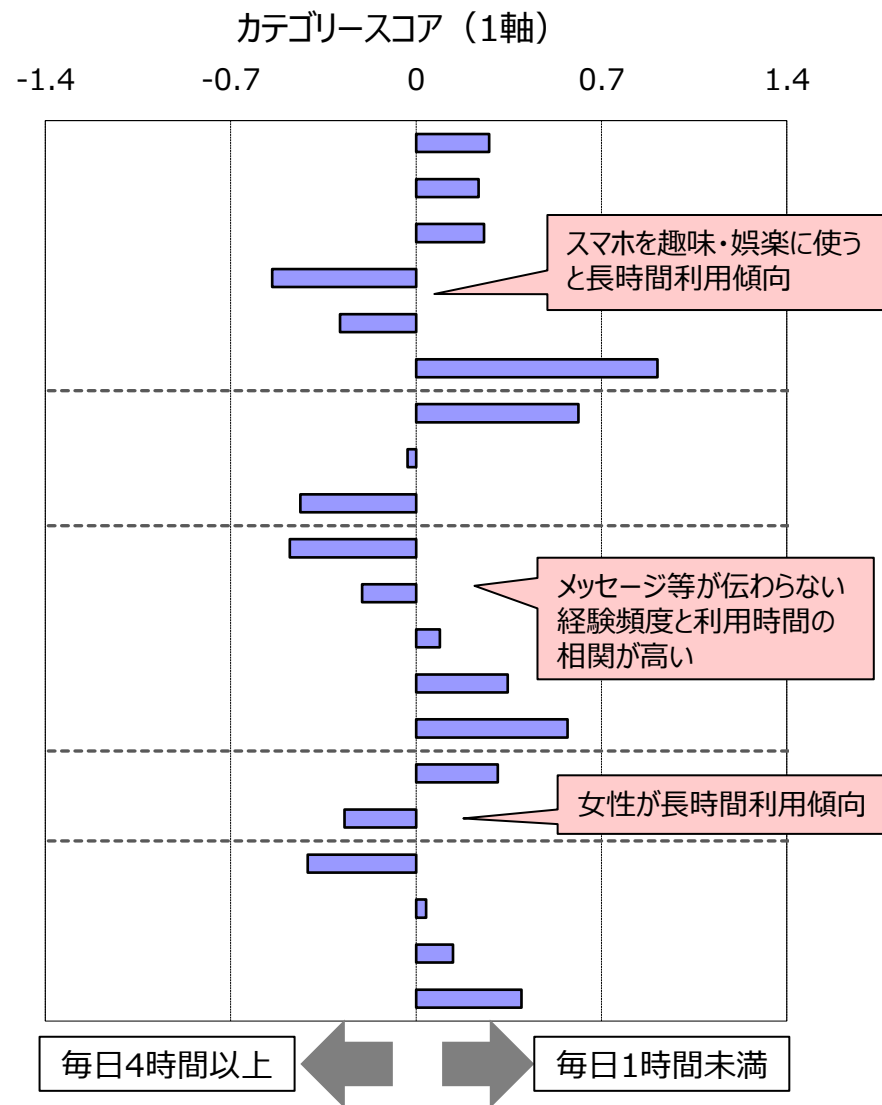
赤：上位3項目

青：下位3項目

分析結果 2 年齢15～29歳 (n=1,113)

13

アイテム名	カテゴリー名	n	偏相関係数 (順位)
スマホで最も行う行動	コミュニケーション	254	.218 (1位)
	情報検索	296	
	仕事、学校、勉強、生活関連	34	
	趣味娯楽	313	
	暇つぶし・ストレス解消	171	
	その他	45	
日常的に使うアプリの数	0-4個	245	.179 (2位)
	5-9個	566	
	10個以上	302	
メッセージ等が 伝わらない経験	多々ある	96	.151 (3位)
	少しある	499	
	あまりない	239	
	ほとんどない	148	
	経験がない	131	
性別	男性	519	.143 (4位)
	女性	594	
人との交流が深まった	そう思う	234	.117 (5位)
	まあそう思う	502	
	あまりそう思わない	283	
	そう思わない	94	



分析結果 3 年齢60～79歳 (n=2,094)

判別の中率 : 58.5%

1軸

平均と標準偏差 (群別)

	平均	分散	標準偏差
4時間以上	-1.049	0.909	0.953
1-4時間	-0.381	0.692	0.832
1時間未満	0.517	0.696	0.834
全体	0.000	1.000	1.000

寄与率 : 87.0%

相関比 η^2 : 0.287**

2軸

平均と標準偏差 (群別)

	平均	分散	標準偏差
4時間以上	0.539	1.471	1.213
1-4時間	-0.191	0.984	0.992
1時間未満	0.071	0.842	0.918
全体	0.000	1.000	1.000

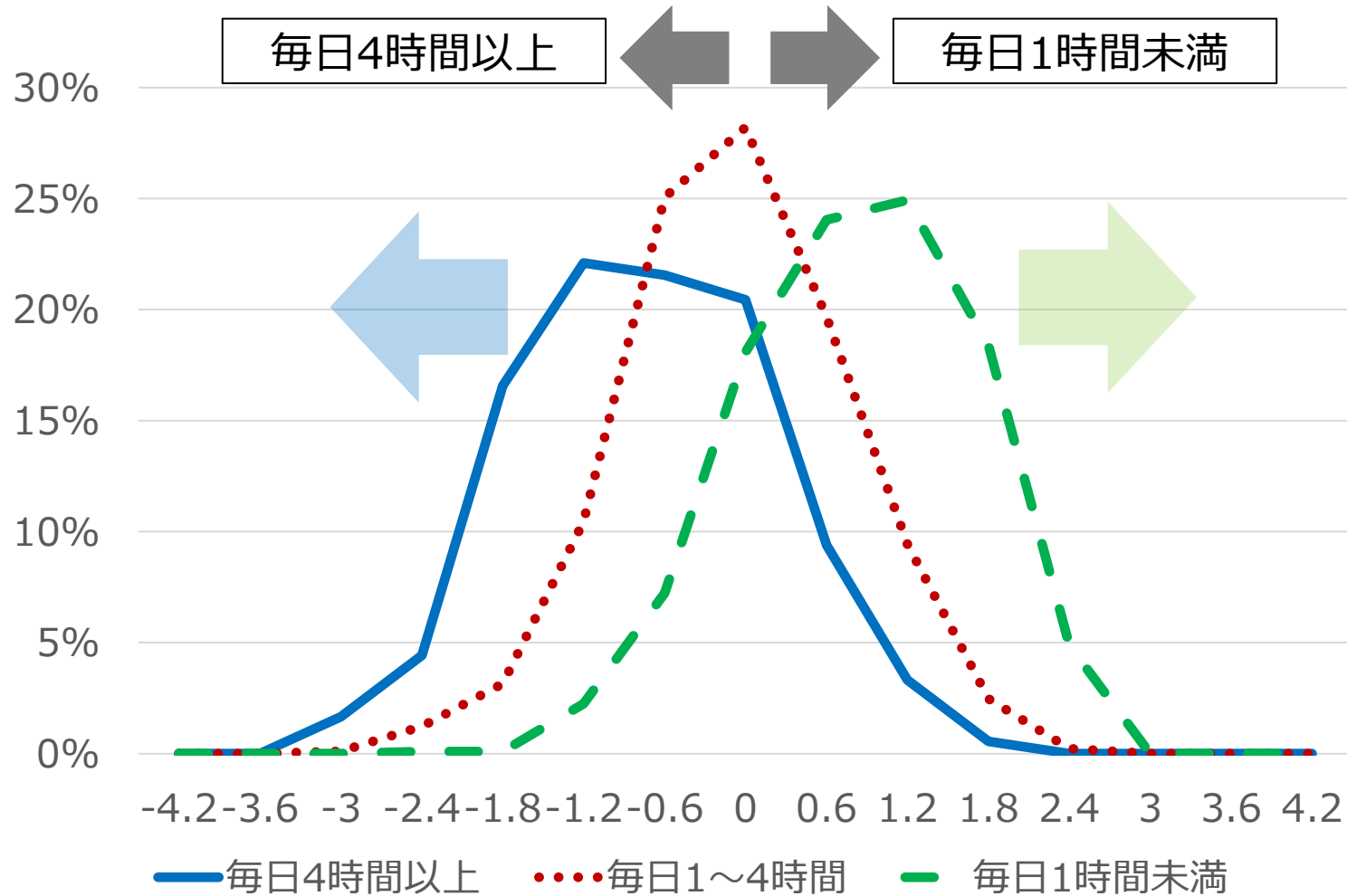
寄与率 : 13.0%

相関比 η^2 : 0.043**

分析結果3 年齢60～79歳 (n=2,094)

15

判別グラフ (1軸)



分析結果 3 年齢60～79歳 (n=2,094)

16

各説明変数のレンジと偏相関係数 (1軸)

アイテム名	レンジ		偏相関係数	
性別	0.072	10位	0.021	10位
スマホ歴	0.792	6位	0.129	5位
PC所有状況	1.250	1位	0.226	1位
スマホで最も行っている行動	1.129	2位	0.189	4位
日常的に使うアプリ数	1.039	3位	0.223	2位
SNSの利用数	0.423	9位	0.090	6位
メール等で相手にうまく伝わらない経験	0.467	8位	0.055	9位
ネットショッピングでの金銭浪費経験	0.933	4位	0.084	7位
体の不調を感じる	0.896	5位	0.200	3位
人との交流が深まった	0.551	7位	0.077	8位

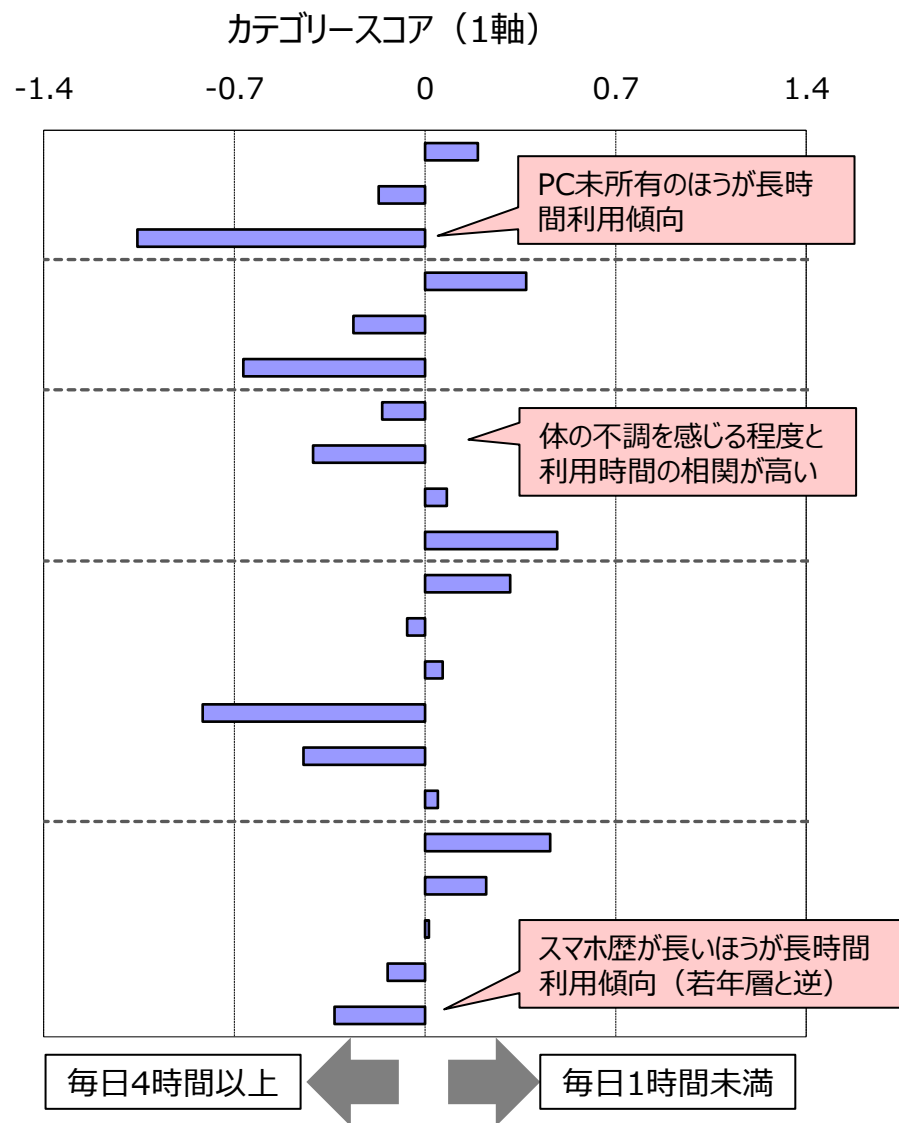
赤：上位3項目

青：下位3項目

分析結果3 年齢60～79歳 (n=2,094)

17

アイテム名	カテゴリー名	n	偏相関係数 (順位)
PCの所有状況	専用PC所有	1507	.226 (1位)
	共用PC所有	371	
	PC未所有	216	
日常的に使うアプリの数	0-4個	1048	.223 (2位)
	5-9個	764	
	10個以上	282	
スマホ利用により体の不調を感じる	そう思う	501	.200 (3位)
	まあそう思う	737	
	あまりそう思わない	658	
	そう思わない	198	
スマホで最も行う行動	コミュニケーション	751	.189 (4位)
	情報検索	833	
	仕事、学校、勉強、生活関連	104	
	趣味娯楽	152	
	暇つぶし・ストレス解消	160	
	その他	94	
スマホ歴	1年未満	183	.129 (5位)
	3年未満	399	
	5年未満	393	
	5年以上	986	
	わからない	133	



分析結果 2 年代別比較

目的変数との偏相関係数とレンジの比較

1軸	15～29歳 n=1,113				30～44歳 n=1,417				45～59歳 n=1,648				60～79歳 n=2,094			
アイテム名	レンジ		偏相関係数		レンジ		偏相関係数		レンジ		偏相関係数		レンジ		偏相関係数	
性別	0.58	7位	0.14	4位	0.47	10位	0.12	6位	0.08	10位	0.02	10位	0.07	10位	0.02	10位
メッセージ等が 伝わらない経験	1.05	5位	0.15	3位	0.81	6位	0.10	8位	0.65	8位	0.09	8位	0.47	8位	0.05	9位
SNSの利用数	1.26	2位	0.11	7位	1.17	2位	0.15	3位	0.69	7位	0.12	7位	0.42	9位	0.09	6位
スマホ歴	1.16	3位	0.10	8位	1.12	3位	0.14	4位	0.38	9位	0.07	9位	0.79	6位	0.13	5位
スマホで最も行う行動	1.46	1位	0.22	1位	1.29	1位	0.17	1位	0.94	4位	0.15	5位	1.13	2位	0.19	4位
日常利用アプリ数	1.05	4位	0.18	2位	0.85	5位	0.16	2位	0.80	6位	0.16	2位	1.04	3位	0.22	2位
ネットショッピングでの 金銭浪費経験	0.39	9位	0.05	9位	0.65	7位	0.08	10位	1.01	3位	0.15	4位	0.93	4位	0.08	7位
人との交流が深まった	0.81	6位	0.12	5位	0.54	8位	0.08	9位	1.09	2位	0.15	3位	0.55	7位	0.08	8位
体の不調を感じる	0.56	8位	0.11	6位	0.87	4位	0.12	5位	0.91	5位	0.15	6位	0.90	5位	0.20	3位
PC所有状況	0.08	10位	0.01	10位	0.54	9位	0.11	7位	1.14	1位	0.23	1位	1.25	1位	0.23	1位

年代が上がるごとに傾向が徐々に変化

- 分析 1 全サンプルと利用時間別特性
 - 「年代」が大きく影響。次いで「日常的に使うアプリ数」、「スマホで行う行動」。
- 分析 2 年代別の利用時間別特性
 - 年代によって影響する要因が異なる
 - 共通要因：「日常的に利用するアプリ数」は各年代で変相関係数が上位
 - 傾向が異なる要因：

若年層	● 「女性」のほうが長時間利用傾向 ● 「メールやメッセージで相手にうまく伝わらなかった経験頻度」が偏相関係数の上位
高年層	● 「PC未所有」のほうが長時間利用傾向 ● 「スマホ歴が長い」ほうが長時間利用傾向 ● 「スマホ利用による体の不調を感じる」が偏相関係数の上位

- 利用時間以外のスマホとの付き合い方に関連する要因については、今後の分析で明らかにしていく。



スマホ利用のライフスタイルアプローチ(2) スマホ利用者の利用時間の違いとその特性

○小島 誠也（NTTドコモ モバイル社会研究所）
飽戸 弘（東京大学名誉教授）